

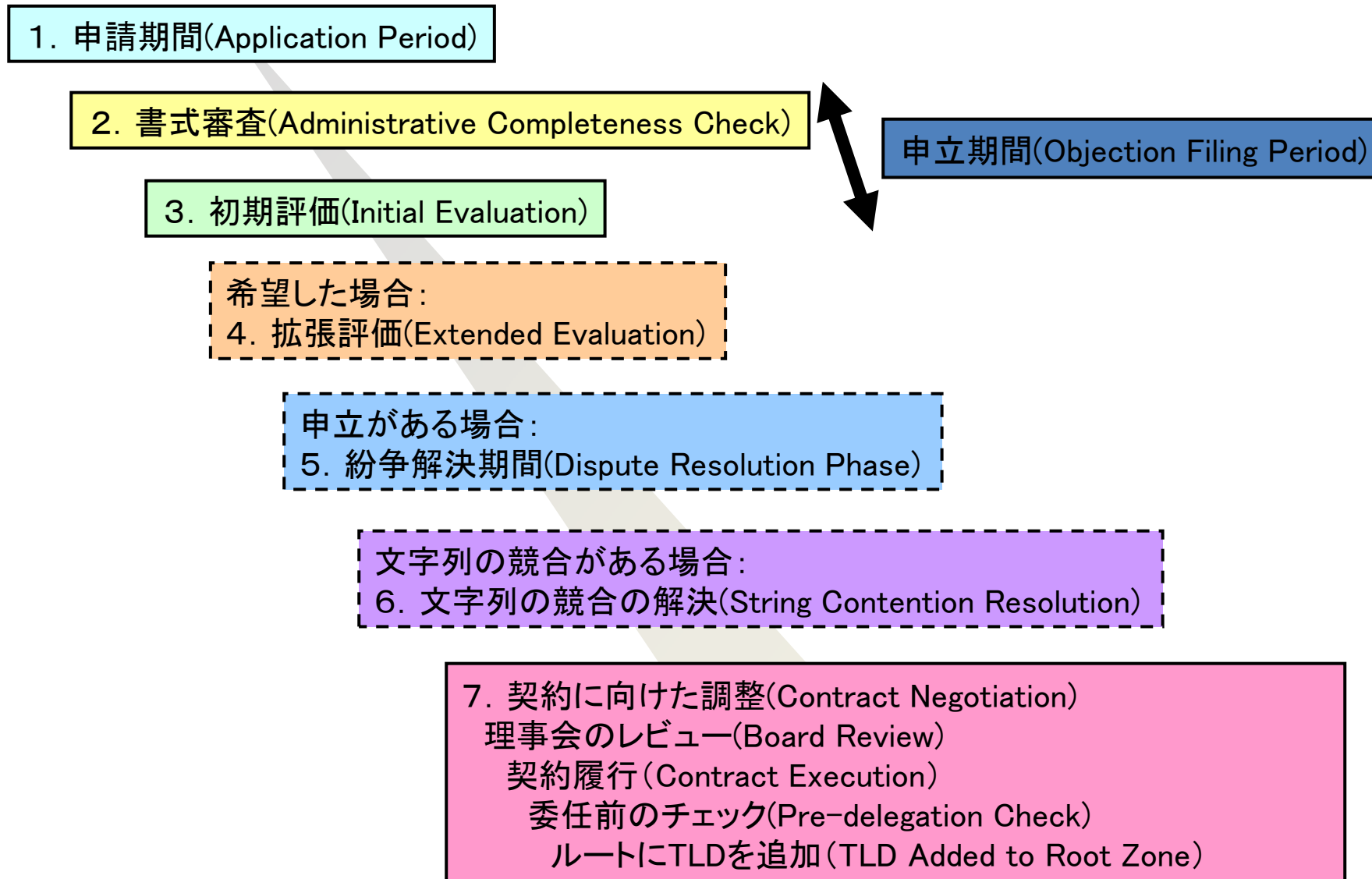
参考資料4

新たな「分野別トップレベルドメイン(gTLD)」の申請について

平成20年12月19日

(第23回ICANN報告会JPNIC資料より抜粋)

● 新gTLDの申請手続の流れ



1. 申請期間

- オンライン申請システム (ICANN's TLD Application System, TAS) 経由で申請
 - ユーザー登録費用は USD 100
 - ICANNとのインターフェースとなり進捗等を確認できる
- 申請期間中に申請料金 (gTLD Evaluation Fee) USD 185,000を支払い、必要書類を揃えて提出
- 申請期間後の提出は受け付けられず、必要書類の追加提出も基本的に受け付けられない
- 申請期間開始と共に、意見募集期間も開始
 - 寄せられたコメントは、初期評価 (Initial Evaluation)・拡張評価 (Extended Evaluation) の評価者や紛争処理機関 (DRSP) にも届けられ、参考にされることもある

2. 書式審査

- 申請内容に不備がないかICANNがチェック
 - すべての質問事項に回答しているか
 - 添付書類を揃えて提出しているか
 - 申請料金 (gTLD Evaluation Fee) が振り込まれているか
- 次の評価に進める申請のリストを公開する
 - その後、申立期間 (Objection Filing Period) が開始し、初期評価期間 (Initial Evaluation Period) の終了後まで続く

3. 初期評価

- 主に2点についてレビュー
 - 文字列のレビュー
 - 既存TLDおよび他の申請文字列 (IDN ccTLD Fast TrackのccTLDも含む) との類似性を、アルゴリズムによるスコアと共にパネルが判断
 - DNSの安全性・安定性をおびやかさないか
 - 地理的名称であるか
 - 国・地域 (ISO 3166-1)、郡・省・州 (ISO 3166-2)、市、大陸、国連地域の名称の申請には、政府もしくは公的機関が支持もしくは反対しないことを記す文書が必要
 - 申請者に関するレビュー
 - 技術面および運用面の能力の証明
 - 財政能力の証明
 - レジストリサービス案

4. 拡張評価

- 初期評価に合格した申請者のリストをICANNが公開
- 初期評価に合格しなかった場合
 - 下記の場合、不合格通知受領後15営業日以内に要求すれば、1回のみ拡張評価(Extended Evaluation)を受けることができる
 - 次の項目に関して合格できなかった場合
 - 技術面および運用面の能力の証明
 - 財政能力の証明
 - ICANNが次の項目のレビューが更に必要であると判断した場合
 - DNSの安全性・安定性をおびやかさないか
 - レジストリサービス案(申請者は、Registry Service Review Fee(約USD 50,000もしくはそれ以上)を支払う必要がある)
 - 申請の撤回も可能
 - 拡張評価を通過できなければ、先には進めない

5. 紛争解決期間①

- 4つの理由による申立
 1. 文字列の混同による申立(String Confusion Objection)
 2. 法的権利に基づく申立(Legal Rights Objection)
 3. 公序良俗に関する申立(Morality and Public Order Objection)
 4. コミュニティからの申立(Community Objection)
 - Open gTLDにもコミュニティからの申立が行われることもある

5. 紛争解決期間②

- 申立を受けた申請者は
 - 答弁し手続きに参加する
 - 申請を取り下げる（⇒申立が認められる）
 - 答弁しない（⇒申立が認められる）
- 申立書・答弁書は英語で記述
 - 紛争処理手続きは原則英語で進められるが、紛争処理機関の定めによっては他の言語で行われることもある
- 和解のための時間(cooling off period)を取ることも可能
- ICANNでは、原則として、パネルの指名から45営業日以内に裁定がでることを希望している
- パネルによる裁定は、専門家の判断としてICANNの最終判断の際に考慮される

5. 紛争解決期間③

- 申立・答弁費用 (Dispute Resolution Filing Fee)
 - 約USD 1,000～USD 5,000(もしくはそれ以上)
 - 上記はICANNの試算であり、DRSPの定めにより異なる
- 裁定費用 (Dispute Resolution Adjudication Fee)
 - 手続きに要する費用は、両者が前払いする
 - 勝った方は返金され、負けたほうがコストを負担する
 - 固定料金の場合 (ICANNの試算)
 - 1件につき、USD 2,000～USD 8,000(もしくはそれ以上)
 - 時間給の課金となる場合 (ICANNの試算)
 - 1人パネルだと、USD 32,000～USD 56,000(もしくはそれ以上)
 - 3人パネルだと、USD 70,000～USD 122,000(もしくはそれ以上)

6. 文字列の競合の解決①

- 文字列の競合 (String Contention) とは
 - 同一もしくは類似の文字列の申請が2つ以上ある場合
- 同一もしくは類似の文字列の申請をまとめて“contention set”という
 - contention setに含まれる場合、初期評価期間の間に申請者に知らせられる
- 文字列の競合の解決は、評価や紛争解決が全て済んでから行われる
- ICANNが申請内容を公開して以降、どの段階においても競合関係にある申請者間で和解できるが、申請内容を変更したりジョイントベンチャーを作ったりして解決してはならない

6. 文字列の競合の解決②

- 解決のための手続き
 - Community-basedの申請は、比較評価のみ
 - contention setにあるCommunity-basedの申請者は、比較評価費用を払わなければならない
 - 4項目(1項目3点で12点満点)についてレビューし採点する
 - 11点以上の申請者が合格
 - 11点以上の申請者が複数ある場合、よりコミュニティを代表していると思われるほうが選ばれる
 - Openの申請の場合および比較評価で決まらないCommunity-basedの申請の場合
 - 競合者間の和解(最も効果的、経済的であると考えられる)
 - ラストリゾートとしてオークション
 - オークションの収入は、ICANNの予算とは分けて、コミュニティ用の資金として取っておく
 - 文字列の競合において勝者となった申請者が、決定から90日以内に契約を履行しなければ、ICANNの判断により、次点の申請者が契約できる場合がある

7. 契約に向けた調整

- 契約に向けた調整段階に入ると、
 - ICANNとのレジストリ契約履行
 - 委任前の技術的チェックの2点を新gTLDの委任前に行う必要がある
- レジストリ契約が定める期間内に技術的要件が満たされなければ、ICANNはレジストリ契約を終了することもできる
- レジストリとなった場合、ICANNに支払う手数料(Registry-Level Fee)は四半期で少なくとも USD 18,750(年間でUSD75,000)